

学校と地域との橋渡し役となる PTA 活動

～子どもが安全に過ごせる岐山地区をめざして～

周南市立岐山小学校育友会



PTA名称	周南市立岐山小学校 育友会	
所在地	周南市大字徳山5673番地	
学校地域の 概要・組織	<p>昭和33年に開校し、現在63年目。校区は周南市中央部の市街地北側に位置し、東西に走る国道2号線北側の県道315号線の東西両側が主たる校区となっている。校区内には周南警察署、桜ヶ丘高等学校、市文化会館、美術博物館、徳山動物園等の公共文化施設があるとともに、昔からの史跡も多く点在している。一定の地域内に住宅地が集中しており、地域の人口密度は高い。</p> <p>また、本年度はコロナ禍の中「いっしょうけんめいがんばるきさん子」を教育目標にし、福井雅子校長をはじめ教職員28名が児童を熱心に指導支援している。育友会が学校を全面的にサポートし、家庭・地域・学校のバランスがとれている学校である。</p>	
研究テーマ	<p>学校と地域との橋渡し役となる PTA 活動</p> <p>～子どもが安全に過ごせる岐山地区をめざして～</p>	
成果と課題	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メインイベントの「防災ふれあい学習会」はコロナの影響で実施できなかったが、学校では日々の防災学習に尽力した。児童発信の「安全マップ」発表会等で防災意識の高まりを感じた。地域の方への発表で、きめ細やかな安全の把握と危険箇所の修繕につなげる結果になった。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会議や集まりができないことで、情報伝達が難しい今年度だった。参観日や「防災ふれあい学習会」さえも実施できず、予定がこなせなかった。来年度に期待したい。 ○ 防災に取り組むための資金繰りが厳しい中、今回のこの助成金の多くを他の必要経費に補てんし、来年度の「防災ふれあい学習会」で必要な費用を他会計より捻出することにした。 	

活動内容	<p>「地域防災を担うお父さんお母さん世代」をキャッチフレーズに昨年度より学校の防災学習を保護者や地域に広げた。しかし本年度は、臨時休業から始まり、多人数での会議や集まりが難しく、十分な活動が行えなかった。6月開催予定であった「防災ふれあい学習会」も10月に延期し実施しようとしたが、「防災についての授業」実践のみになってしまった。「防災ふれあい学習会」をこの助成金を充ておこなう予定であったが、中止せざるを得なかった。「防災についての授業」も各学年がそれぞれに取り組んだが、3・4年生は総合的な学習の時間に「防災」についての授業を実施した。特に3年生は、11月に地域の方と一緒に考え「防災・防犯岐山地区安全マップ」を完成させる取組を行った。そして、それを保護者や地域の人に披露する発表会を催した。</p> <p>また、コロナ禍でふれあいの活動はほとんど自粛していたが、児童の安全のために学校内の舗装し直し作業も行った。コロナで帰省もできないところを父親たちが暑い中、8月13日に活動した。児童が長期休みで、参加者である父親たちの仕事が休みでと考えると、お盆がよいというメンバーが多く、この日に集合し、「停止線」「徐行」「止まれ」など美しく舗装し直した。</p> <p>昨年度より避難所である岐山小学校体育館の備蓄庫の充実に力を入れた。今年度は、非常食の食数を増やしたり、飲料水やマスク、アルコール消毒液、非接触型体温計等を追加し、コロナ対応の備蓄が増えた。また、避難時のプライバシーを守るテントや簡易式トイレも一つ用意された。</p> <p>今後も子どもたちの安全や防災意識の向上に取り組んでいくものである。</p>
------	---

<写真・資料>



11月26日(木)に、3年生が地域の方々をお呼びして「防災・防犯安全マップ発表会」を開催した。3年生全員が地区や道路担当でグループに分かれて、調べ学習をし、その結果をまとめ、発表した。地域の方への発表後、地域の方々から「子どもの視点でしか気付かないこともあるが、気になっていた箇所を子どもたちが言っていたのでなおさら理解が早かった」とか「昨日転びそうになって危険だと思ったことを子どもたちが言っていたので、子どもの力ってすごいと思った」、「子どもたちの願いを実現させるように我々大人が動くべき」などの感想をいただいた。子どもたちが気付いて、作成したマップから地域の方々への動きに変えることにつながっていく。それは、学校と地域が密接な関係になっていることを改めて感じるようになった。



父親たちによる「舗装し直し作業」の様子である。薄くなった学校内の「停止線」や「徐行」、「止まれ」、児童の一旦停止の線の舗装のし直しを行った。マスキングテープで字体をデザインし、黄色や白色のペンキで塗る作業をした。2学期始めに児童は「新しくなってる」「誰が塗ったん？」と嬉しそうな表情を見せた。地域の方々や保護者からも好評である。



備蓄庫が充実してきた。昨年度に地域防災の方で備蓄庫を用意いただき、体育館ステージ裾を整備し、設置できた。その中の備蓄品が昨年度はまだまだ少なく、この棚がたくさん空いていたが、昨年度はコロナ禍で活動ができなかったことを逆手にとり、備蓄品を充実させた。